

参考資料

2013年度中間期 業績の概要

2013年11月15日
ソニー銀行株式会社

損益の状況(1):財務会計ベース

<連結・単体>

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

(億円)

<連結>

- **連結業務粗利益**

前年同期比16億円増加の120億円。
住宅ローンの積み上がりと資金利鞘の改善に加え、
リスクオンの流れでお客様の外貨取引が大きく
増加。

- **連結経常利益**

半期ベース過去最高の35億円。

- **連結中間純利益**

半期ベース過去最高の22億円。

<単体>

- **業務粗利益**

前年同期比20億円増加の110億円。
連結と同様の要因により、
資金運用収支とその他業務収支が増加。

- **経常利益**

半期ベース過去最高の36億円。

- **中間純利益**

23億円へ黒字転換。
前年同期は、ソニーバンク証券株式の評価損を
計上したことにより純損失。

	<6ヶ月累計>	2012年度 上期	2013年度 上期	前年同期比	
連結	業務粗利益	104	120	+16	+16.1%
	経常利益	21	35	+14	+68.1%
	中間純利益	18	22	+3	+21.4%

単体	業務粗利益	89	110	+20	+22.6%
	資金運用収支	83	99	+15	+18.5%
	役務取引等収支	0	△1	△1	—
	その他業務収支	5	12	+6	+117.7%
	営業経費	69	72	+3	+4.4%
	業務純益	20	37	+17	+81.7%
	経常利益	19	36	+17	+89.6%
	中間純利益	△5	23	+28	—

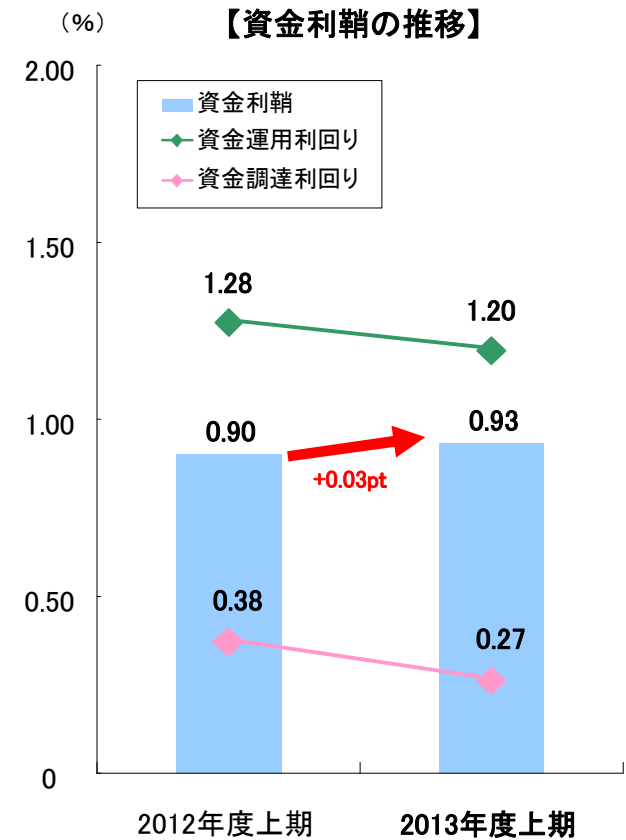
損益の状況(2): 社内管理ベース

< 単体 >

- 基礎的な収益を表すコアベース業務粗利益は、前年同期比8億円増加の96億円。住宅ローンを中心とした貸出金利息の増加などにより資金収支が改善したことに加え、リスクオンを背景にお客さまの外貨取引が大幅に伸び、手数料等収支が倍増した。
- 資金利鞘は、預貸率の改善等により前年同期比0.03ポイント改善。

<6ヶ月累計>	2012年度 上期	2013年度 上期	前年同期比	
			金額	増減率
業務粗利益	89	109	+20	+22.7%
資金収支*1①	85	91	+5	6.8%
手数料等収支*2②	2	4	+2	+81.2%
その他収支*3	1	13	+12	—
コアベース業務粗利益(A) =①+②	88	96	+8	+9.1%
営業経費等③	68	72	+3	+4.8%
コアベース業務純益 =(A)-③	19	24	+4	+24.2%

(億円)



金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

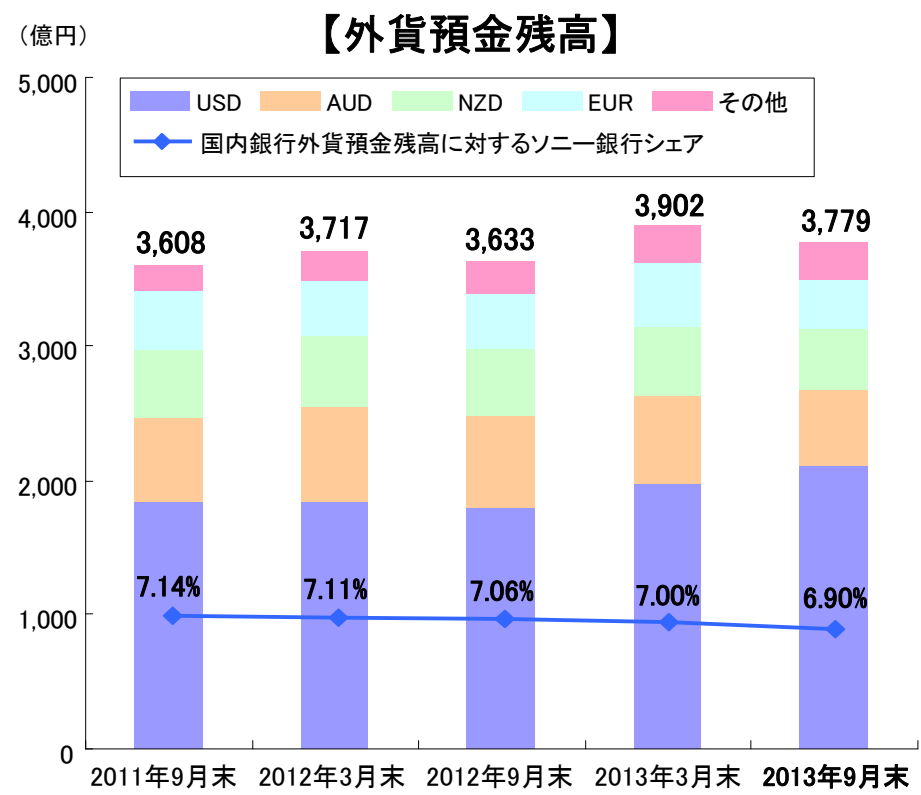
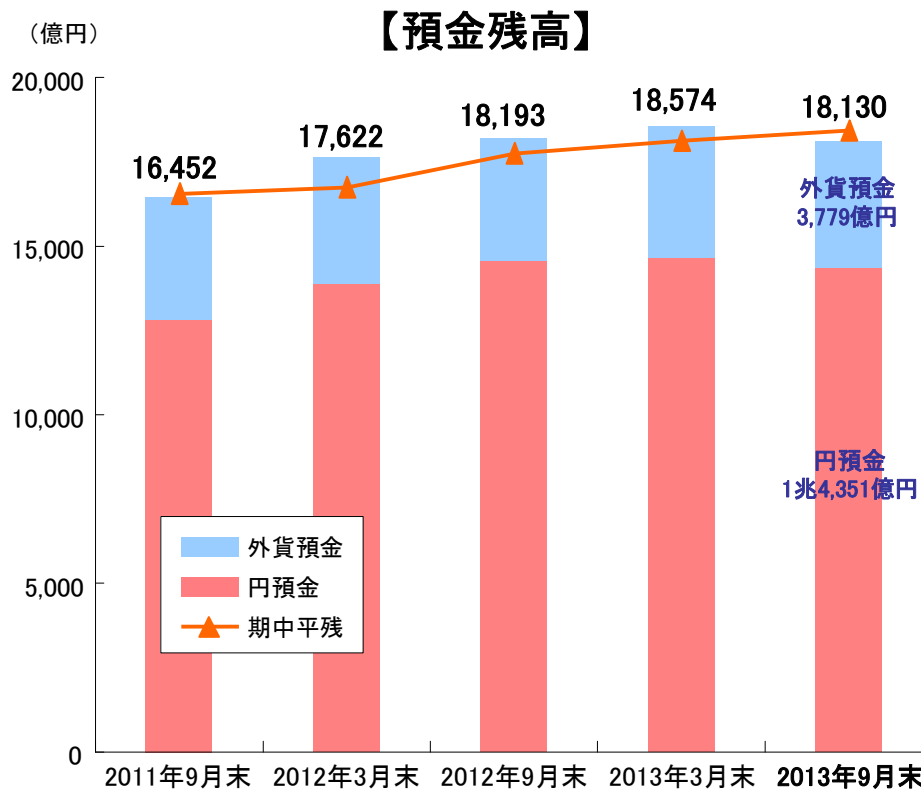
- 社内管理ベース 損益の実態をより適切に表すよう、財務会計ベースに以下の調整を加えたもの
 - *1 資金収支…資金運用収支+その他業務収支に計上されている実質的な資金運用にかかる損益(為替スワップ収益等)
 - *2 手数料等収支…役員取引等収支+その他業務収支に計上されているお客さまとの外貨売買取引にかかる収益
 - *3 その他収支…その他業務収支より*1と*2の調整分を控除したものの。主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益
- コアベース 社内管理ベースのその他収支(主に債券関係損益およびデリバティブ関連損益)を除いたもので、当社の基礎的な収益を表すもの

預金の状況

<単体>

- 円預金残高は、定期預金がリスクオンを背景とした魅力低下もあり減少し、前年度末比321億円減少の1兆4,351億円。
- 外貨預金残高は、円安進行に伴う利益確定の売りによる円預金への振り替えが進み、同122億円減少の3,779億円。
- 2013年9月末の預かり資産残高(預金+投資信託)は1兆9,307億円。口座数は94万件。

金額は億円未満切捨てで表示

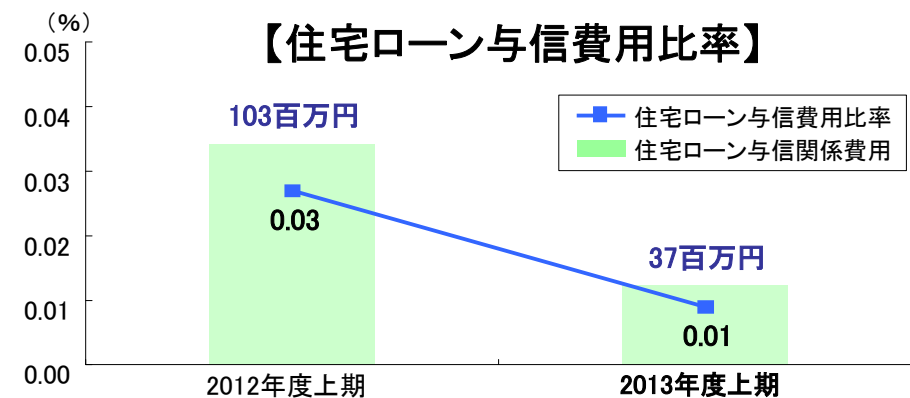
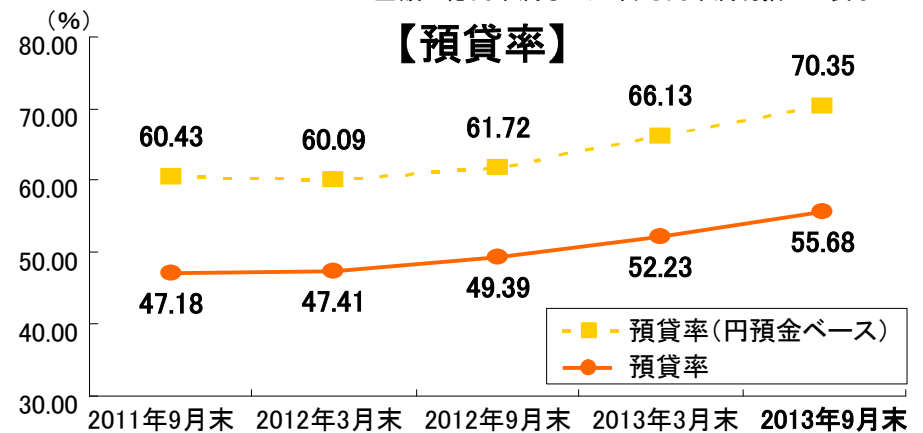
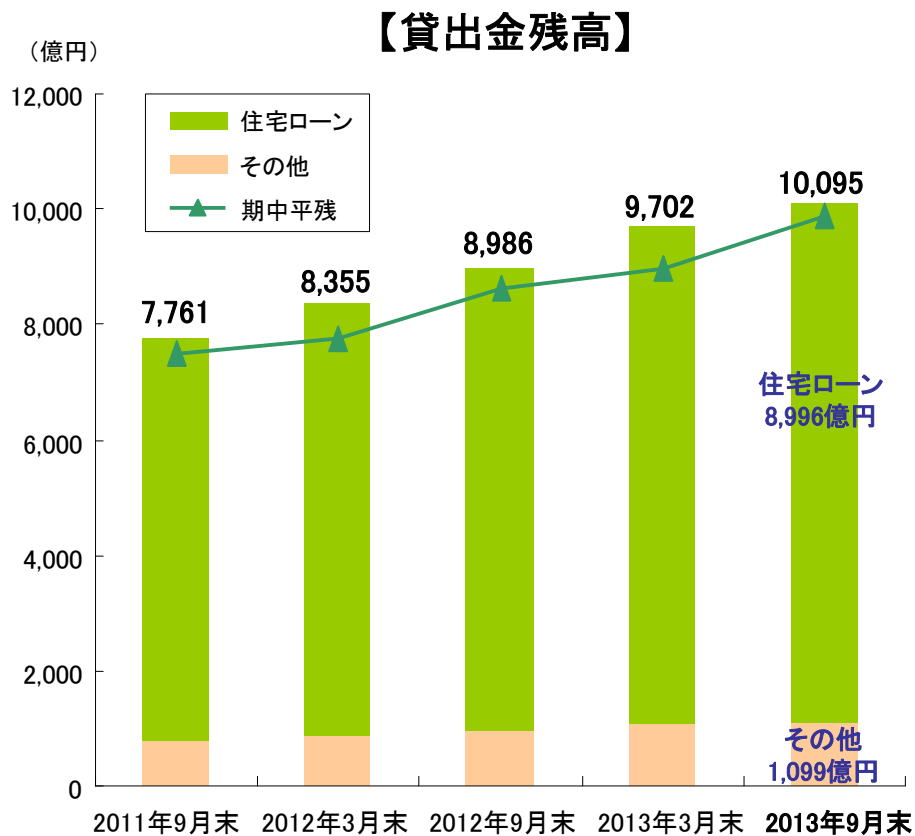


貸出金の状況

<単体>

- 貸出金は、住宅ローンを中心に前年度末比393億円の増加となり、残高は1兆95億円と1兆円の大台に。預貸率も着実に伸び、55.68%に上昇。
- 住宅ローン与信費用比率は、前年同期に引き続き低水準を維持。

金額は億円未満もしくは百万円未満切捨てで表示



● 住宅ローン与信費用比率(年率換算) = 住宅ローン与信関係費用 ÷ 住宅ローン平残
 ● 住宅ローン与信関係費用 = 貸出金償却(住宅ローン) + 貸倒引当金繰入額(住宅ローン)

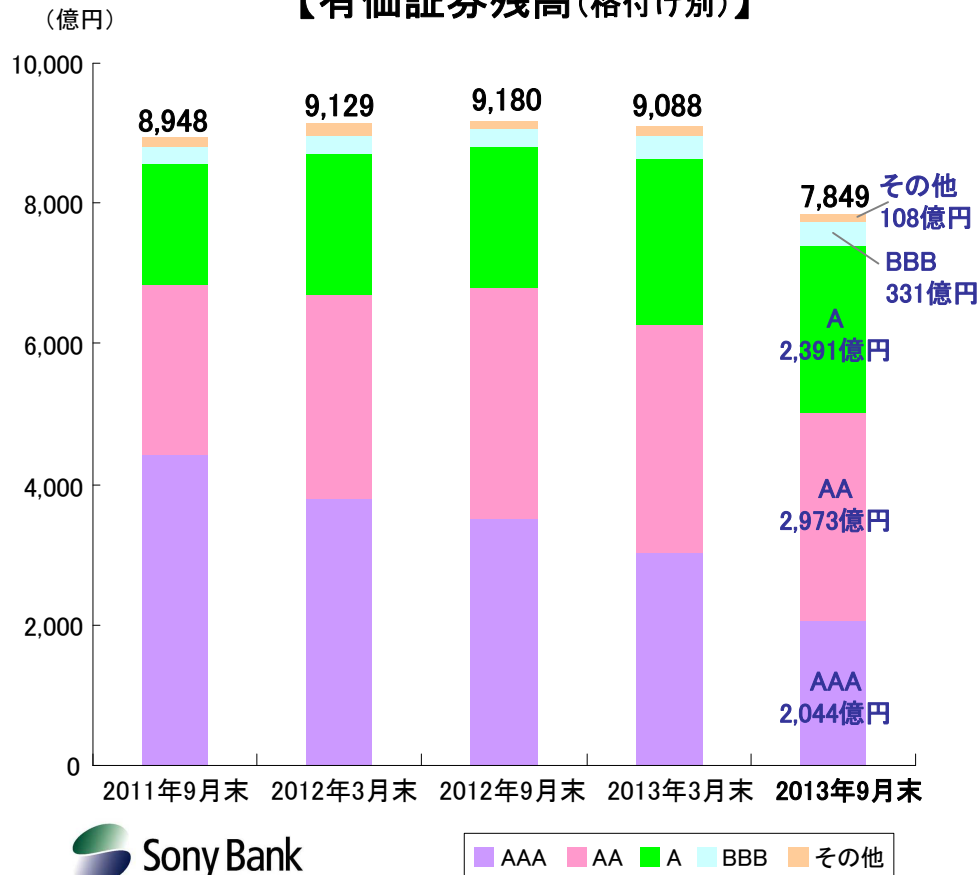
有価証券の状況

< 単体 >

- 有価証券は、高格付けの債券で安定的に運用。引き続き、AAA～A格の債券が全体の9割強を占める。
- その他有価証券評価差額金(税効果会計適用前)は90億円。

金額は億円未満切捨てで表示

【有価証券残高(格付け別)】



【その他有価証券の内訳】

(億円)

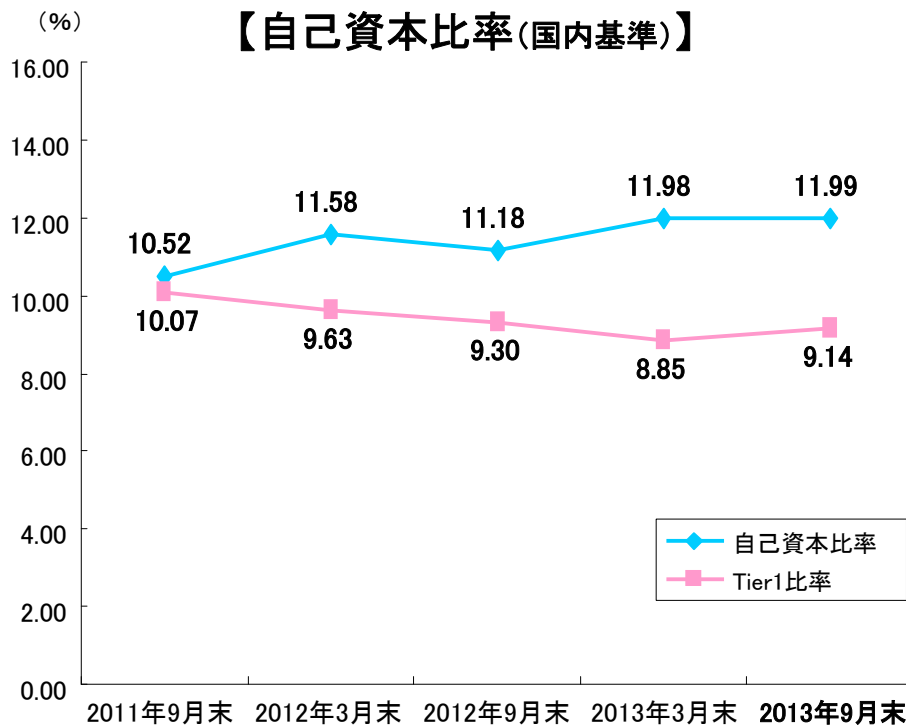
	2013年3月末	2013年9月末
債券	4,492	3,299
国債	1,860	977
地方債	612	565
社債	2,019	1,757
その他	4,491	4,445
外国債券	4,420	4,370
その他の証券	70	75
合計	8,984	7,745
< その他有価証券評価差額金 (税効果会計適用前) >	< 97 >	< 90 >

※時価のあるその他有価証券の貸借対照表計上額内訳

自己資本比率・格付け情報

<単体>

● 自己資本比率は11.99%と、健全な水準を維持。



【格付け(2013年9月末現在)】

スタンダード&プアーズ	
長期カウンターパーティー格付け「A」	アウトルック「安定的」
短期カウンターパーティー格付け「A-1」	
日本格付研究所	
長期優先債務格付け「AA-」	見通し「安定的」

※平成18年金融庁告示第19号「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」に基づき算出している。また、2011年度までは平成20年金融庁告示第79号を適用しており、2012年度以降は平成24年金融庁告示第56号を適用している。

2013年4月以降の主なサービス拡充施策(2013年11月発表分まで)

● お客さまの資産形成をサポート

- ・500円から12通貨を対象に分散投資できる「外貨預金の積立購入」の取り扱いを開始(2013年10月)
- ・外貨被仕向け送金手数料を無料化(2013年5月)
- ・投資信託の積み立てプランを改定し、積み立て最少金額を1万円から1,000円に引き下げるとともに、販売手数料も通常の20%割引に(2013年4月)
- ・NISA口座開設の申し込み受け付けを開始(2013年7月)

● 住宅ローンのサービス力と競争力を強化

- ・金利プランの金利引き下げ幅を拡大(2013年11月)

● 口座振替の拡充により決済サービスを強化

- ・SMBCファイナンスサービス株式会社と提携し、口座振替サービスを拡充(2013年6月)
- ・松井証券株式会社との即時資金決済サービスを開始(2013年11月)

● お客さまとのコミュニケーションを強化

- ・HDI 五つ星認証プログラムの「問合せ窓口」部門、および「Web サポートポータル」部門にて、銀行業界としては初めて「五つ星センター」の認証を取得(2013年10月)
- ・Facebook、Twitterといったソーシャルメディア公式アカウントを開設(2013年6月)